

### Ⅲ 調査票及び単純集計結果



あなた自身について、お聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1 男性	42.9%	2 女性	53.8%	3 どちらともいえない	1.6%
無回答	1.8%				

問2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

1 18歳～24歳	3.9%	2 25歳～29歳	5.7%	3 30歳～34歳	8.8%
4 35歳～39歳	7.5%	5 40歳～44歳	7.0%	6 45歳～49歳	13.0%
7 50歳～54歳	9.4%	8 55歳～59歳	10.6%	9 60歳～64歳	10.4%
10 65歳～69歳	6.0%	11 70歳代	10.1%	12 80歳以上	7.0%
無回答	0.5%				

問3 あなたはどの地域にお住まいですか。(〇は1つ)

1 麴町地区	29.4%
〔丸の内一～三丁目、大手町一丁目1番～3番および5番～9番・二丁目、内幸町一～二丁目、有楽町一～二丁目、霞が関一～三丁目、永田町一～二丁目、隼町、平河町一～二丁目、麴町一～六丁目、紀尾井町、一番町～六番町、九段南二丁目(1番4号～35号)、皇居外苑、日比谷公園〕	
2 富士見地区	15.6%
〔千代田、北の丸公園、一ツ橋一丁目、大手町一丁目3番4号気象庁および4番、九段南一丁目・二丁目(1番4号～35号を除く)・三～四丁目、九段北一～四丁目、富士見一～二丁目、飯田橋一～四丁目〕	
3 神保町地区	12.2%
〔一ツ橋二丁目、神田神保町一～三丁目、神田三崎町一～三丁目、西神田一～三丁目、神田猿樂町一～二丁目、神田駿河台一丁目奇数番地・二丁目奇数番地〕	
4 神田公園地区	10.9%
〔神田錦町一～三丁目、神田小川町一～三丁目、神田美土代町、内神田一～三丁目、神田司町二丁目、神田多町二丁目、神田鍛冶町三丁目〕	
5 万世橋地区	10.6%
〔神田駿河台一丁目偶数番地・二丁目偶数番地・三～四丁目、神田淡路町一～二丁目、神田須田町一丁目、外神田一～六丁目〕	
6 和泉橋地区	20.5%
〔鍛冶町一～二丁目、神田紺屋町、神田北乗物町、神田富山町、神田美倉町、岩本町一～三丁目、神田西福田町、神田須田町二丁目、神田東松下町、神田東紺屋町、神田岩本町、東神田一～三丁目、神田和泉町、神田佐久間町一～四丁目、神田平河町、神田松永町、神田花岡町、神田佐久間河岸、神田練塀町、神田相生町〕	
無回答	0.8%

問4 あなたのご職業を教えてください。(〇は1つ)

1 会社経営・役員	11.9%	2 自営業(家族従業者を含む)	9.6%
3 正規の職員・従業員	43.4%		
4 非正規の職員・従業員(契約社員・派遣社員・パート・アルバイト等)	12.5%		
5 学生(大学生、専門学校、高等専門学校など)	2.9%		
6 主夫・主婦	9.9%	7 職業についていない	5.7%
8 その他( )	2.6%		
無回答	1.6%		

▶付問4-1 問4で「6」「7」を選択した方にお聞きします。

あなたは今後、働きたいと思いますか。(〇は1つ)

1 フルタイムで働きたい	5.0%	2 パート・アルバイトで働きたい	10.0%
3 自分で事業を始めたい(起業)	5.0%		
4 働きたいが、現実的にはできないと思う	23.3%		
5 働きたいと思わない	45.0%	無回答	11.7%

### あなたのご家族について、お聞きします

問5 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

1 結婚している(事実婚・パートナーを含む)	63.6%		
2 結婚していた(離別・死別)	8.1%	3 結婚していない	28.3%
無回答	0.0%		

▶付問5-1 問5で「1」を選択した方にお聞きします。

あなたは共働きですか。(〇は1つ)

1 共働きである	65.7%	2 夫婦・パートナーの片方だけ働いている	21.6%
3 夫婦・パートナーとも無職	10.2%		
無回答	2.4%		

問6 あなたは、お子さんがいますか。(〇は1つ)

1 いる	52.7%	2 いない	46.5%	無回答	0.8%
------	-------	-------	-------	-----	------

▶付問6-1 問6で「1」を選択した方にお聞きします。

年齢が一番下のお子さんはおいくつですか。令和7年4月1日時点での年齢をお答えください。(〇は1つ)

1 0~2歳	9.9%	2 3~5歳	6.9%	3 6~11歳	12.8%
4 12~14歳	6.9%	5 15~17歳	4.9%	6 18歳以上	57.6%
無回答	1.0%				

問7 あなたのご家族・ご家庭には、介護・介助を必要とする方はいますか。または過去にいましたか。

(○は1つ)

1 現在いる	14.8%	2 過去にいた	20.0%
3 介護・介助を必要とする人はいない(いなかった)			63.9%
無回答	1.3%		

▶付問7-1 問7で「1」「2」を選択した方にお聞きします。

その方を主に介護・介助しているのは、介護・介助を受けている方から見てどなたですか。(○は1つ)

1 配偶者・パートナー	25.4%	2 息子	12.7%
3 娘	19.4%	4 息子の配偶者・パートナー	6.0%
5 娘の配偶者・パートナー	0.0%	6 その他の親族	21.6%
7 友人・知人	0.0%	8 その他( )	11.2%
無回答	3.7%		

日頃の生活について、お聞きします

問8 あなたは、次の分野①～⑧について、性別の違いによって立場の強さが異なると思いますか。  
(それぞれの項目について〇は1つずつ)

分 野			1 男性の方が非常に優遇 されている(強い立場にある)	2 どちらかと言えば男性の方が優遇 されている(強い立場にある)	3 平等だと思っている	4 どちらかと言えば女性の方が優遇 されている(強い立場にある)	5 女性の方が非常に優遇 されている(強い立場にある)	6 分からない
① 家庭生活	無回答	1.6%	1 8.1%	2 27.8%	3 46.2%	4 8.8%	5 1.3%	6 6.2%
② 職場	無回答	3.4%	1 14.8%	2 31.7%	3 34.8%	4 6.5%	5 1.8%	6 7.0%
③ 学校教育の場	無回答	3.1%	1 3.9%	2 14.0%	3 57.1%	4 3.6%	5 0.5%	6 17.7%
④ 政治の場	無回答	2.1%	1 35.6%	2 34.8%	3 16.4%	4 2.9%	5 0.3%	6 8.1%
⑤ 法律や制度の上	無回答	2.3%	1 18.7%	2 24.4%	3 38.4%	4 5.5%	5 3.4%	6 7.3%
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	無回答	2.1%	1 25.2%	2 47.5%	3 17.1%	4 1.8%	5 1.0%	6 5.2%
⑦ 町会・自治会やNPOなどの地域活動の場	無回答	2.3%	1 13.0%	2 23.9%	3 33.2%	4 2.1%	5 0.5%	6 24.9%
⑧ 社会全体として	無回答	1.6%	1 16.9%	2 50.1%	3 20.3%	4 4.2%	5 2.1%	6 4.9%

付問8-1 問8で「3」以外に〇を付けた方にお聞きします。

あなたは次の分野①～⑧について、性別等によって不利益を被った経験はありますか。（それぞれの項目について〇は1つつつ）

分野	1 ある	2 ない	3 実際に経験した ことはないが、見 聞きしたことはあ る
① 家庭生活 無回答 5.0%	1 38.8%	2 36.3%	3 19.9%
② 職場 無回答 8.8%	1 39.9%	2 29.4%	3 21.8%
③ 学校教育の場 無回答 9.2%	1 26.8%	2 43.1%	3 20.9%
④ 政治の場 無回答 32.5%	1 11.1%	2 29.9%	3 26.4%
⑤ 法律や制度の上 無回答 6.1%	1 27.6%	2 34.6%	3 31.6%
⑥ 社会通念・慣習・しきたり 無回答 6.8%	1 43.7%	2 30.2%	3 19.3%
⑦ 町会・自治会やNPOなどの地域活動の場 無回答 7.7%	1 21.8%	2 43.5%	3 27.0%
⑧ 社会全体として 無回答 6.3%	1 44.2%	2 28.9%	3 20.6%

付問8-2 問8-1で「1」「3」を選択した方にお聞きします。

具体的にどんな不利益を被った経験がありますか。または、見聞きしましたか。

自由記述（回答は任意）

### 家庭での家事分担について

令和2年度に実施した調査では、家庭での家事分担について、「子供の世話」を「主に女性」が担っている割合が約61.4%を占めていました。反対に「生活費を稼ぐこと」は、「主に男性」が担っている割合が56.5%を占めています。

問9 あなたは、次の分野①～⑧について、男女等の地位について解決すべき課題があると思いますか。  
(それぞれの項目について〇は1つつつ)

また、差し支えなければそう考える理由についても教えてください。(自由記述)

分 野		1 課題がある	2 課題はない	3 わからない
① 家庭生活	無回答 2.3%	1 56.4%	2 28.3%	3 13.0%
② 職場	無回答 3.4%	1 59.2%	2 24.2%	3 13.2%
③ 学校教育の場	無回答 2.9%	1 34.0%	2 26.2%	3 36.9%
④ 政治の場	無回答 2.9%	1 64.9%	2 11.9%	3 20.3%
⑤ 法律や制度の上	無回答 2.6%	1 56.4%	2 19.5%	3 21.6%
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	無回答 2.6%	1 68.3%	2 12.7%	3 16.4%
⑦ 町会・自治会やNPOなどの地域活動の場	無回答 2.6%	1 38.7%	2 21.6%	3 37.1%
⑧ 社会全体として	無回答 2.6%	1 69.1%	2 12.7%	3 15.6%
(そう考える理由) 自由記述欄				

問 10 現在、結婚（事実婚・パートナーを含む）している方のみご回答ください。

あなたのご家庭では、次の項目①～⑪の事柄を主にしているのは誰ですか。

（それぞれの項目について〇は1つずつ）※項目⑩～⑪はお子さんがいる方だけ回答ください。

項 目	主に男性 (父、兄、弟、 祖父等)	主に女性 (母、姉、 妹、祖母等)	男性と女性 が同程度に 分担	その他 (家族以外 の人や家事 代行サービ スなど)
① 食料品・日用品などの買い物 無回答 0.4%	1 9.0%	2 53.5%	3 37.1%	4 0.0%
② 食事の支度 無回答 1.2%	1 8.2%	2 69.4%	3 21.2%	4 0.0%
③ 食事の後片付け 無回答 0.4%	1 21.2%	2 46.9%	3 31.4%	4 0.0%
④ 風呂掃除 無回答 0.8%	1 30.2%	2 42.9%	3 25.3%	4 0.8%
⑤ その他の掃除 無回答 0.8%	1 15.1%	2 53.9%	3 29.0%	4 1.2%
⑥ ゴミ出し 無回答 0.4%	1 44.5%	2 29.8%	3 25.3%	4 0.0%
⑦ 洗濯 無回答 0.8%	1 12.2%	2 56.3%	3 30.6%	4 0.0%
⑧ 生活費を稼ぐこと 無回答 1.6%	1 52.7%	2 4.1%	3 41.2%	4 0.4%
⑨ 大きな買い物などの決定をすること 無回答 1.2%	1 33.5%	2 16.7%	3 48.6%	4 0.0%
⑩ 子どもの世話 無回答 5.1%	1 1.7%	2 64.0%	3 26.4%	4 2.8%
⑪ 保育園・幼稚園・学校の父母会やP TAなどへの参加 無回答 7.3%	1 3.4%	2 59.6%	3 27.0%	4 2.8%

問10-1 あなたは、問10で答えた家事分担に不満を感じることはありますか。(〇は1つ)

1 ある	24.9%	2 特にな	67.3%	3 わからない	5.7%
無回答	2.0%				

**ジェンダーとは**

生物学的な性別の違いではなく、社会的・文化的につくられる性別の違いです。人々の意識の中につくられた「男性像」「女性像」といった性別による役割分担を意味する言葉として使われます。

問11 あなたは、これまでジェンダーに関する発言や言葉遣いで、違和感や疑問を感じたことはありますか。(〇は1つ)

1 ある	39.2%	2 特にな	42.6%	3 わからない	17.1%
無回答	1.0%				

付問11-1 問11で「1」を選択した方にお聞きします。

具体的にどんな発言や言葉遣いに、違和感や疑問を感じましたか。(自由記述)

問12 あなたは、次の項目①～⑥の結婚や家庭に関する考え方について、どのように思いますか。(それぞれの項目について〇は1つずつ)

項目	そう思う	そうは思わない
① 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである 無回答 1.3%	1 8.1%	2 90.6%
② 家族のリーダーシップは夫が取る方がよい 無回答 1.3%	1 8.6%	2 90.1%
③ 結婚する、しないは個人の自由である 無回答 1.3%	1 93.2%	2 5.5%
④ 結婚しても子どもを持つかどうかは個人の自由である 無回答 0.5%	1 94.3%	2 5.2%
⑤ 子どもを産み育てるのに、必ずしも結婚しなくてもよい 無回答 1.0%	1 63.9%	2 35.1%
⑥ 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもよい 無回答 1.0%	1 90.9%	2 8.1%

付問 12-1 問 12 の項目①、②のいずれかで「1」を選択した方にお聞きします。  
その理由は何ですか。(自由記述)

付問 12-2 問 12 の項目③～⑥のいずれかで「2」を選択した方にお聞きします。  
その理由は何ですか。(自由記述)

子育てや教育について、お聞きします

問 13 あなたは次の項目①～⑥の子育てや教育の考え方について、どのように思いますか。  
(それぞれの項目について〇は1つつつ)

項 目	1	2
そ  う  思  う	そ  う  は  思  わ  な  い	
① 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい 無回答 0.8%	1 23.1%	2 76.1%
② 男の子と女の子は学校で学ぶ内容に違いがあってよい 無回答 1.0%	1 30.6%	2 68.3%
③ 男の子と女の子で進学先に差をつけた方がよい 無回答 0.8%	1 1.8%	2 97.4%
④ 子育てにおける父親と母親の役割は基本的に違いがある 無回答 0.8%	1 54.8%	2 44.4%
⑤ 乳幼児期(3歳くらいまで)は、母親は育児に専念した方がよい 無回答 0.8%	1 33.2%	2 66.0%
⑥ 父親も、母親と同じくらい子育てに関わる方がよい 無回答 1.3%	1 88.1%	2 10.6%

付問 13-1 問 13 の項目①～⑤で「1」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。(自由記述)

付問 13-2 問 13 の項目⑥で「2」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。(自由記述)

問 14 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」ですが、あなたは現在の学校教育において、男女共同参画を実現するためにどのようなことに力を入れるとよいと考えますか。(〇は3つまで)

1	学校生活で生徒の役割分担に男女で差をつけない	47.3%
2	学校生活や進路指導で、男女の区別なく能力を活かせるようにする	58.4%
3	授業や日常の活動のなかで、男女共同参画の意識を育てる授業をする	31.4%
4	教材における登場人物や役割など、男女に偏りのないように見直す	16.9%
5	教職員に男女共同参画についての研修を行う	17.7%
6	校長、副校長などの管理職に女性を増やす	19.7%
7	保護者会などを通じて、保護者の男女共同参画の意識を育てる	12.5%
8	人権尊重や多様性の観点に立った性教育を行う	24.2%
9	デートDV(交際相手からの暴力)や性犯罪の加害者・被害者となることを防ぐための教育を早期から行う	26.8%
10	その他( )	5.2%
11	どれも必要ない	1.8%
	無回答	1.0%

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、お聞きします

問 15 あなたは日頃の生活のなかで、仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、学習、趣味など）で優先したいものはどれですか。あなたの希望に最も近いものと、現在の状況（現実）を教えてください。（それぞれの回答欄に1～8の数字を1つずつ記入してください）

選択肢	希望	現実	回答欄
1 仕事	2.6%	26.0%	希望
2 家庭生活	8.8%	11.4%	
3 個人の生活	15.1%	6.2%	
4 仕事と家庭生活	10.6%	16.6%	
5 仕事と個人の生活	11.4%	10.4%	
6 家庭生活と個人の生活	17.4%	5.2%	
7 仕事、家庭生活、個人の生活	25.7%	12.7%	現実
8 わからない	2.1%	4.7%	
無回答	6.2%	6.8%	

問 16 今後、男性が家事、育児、介護などを積極的におこなっていくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

1 男性が家事、育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	37.1%
2 男性が家事、育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	9.6%
3 パートナーとのコミュニケーションをよくはかること	47.0%
4 まわりの人が夫婦の役割分担などについての当事者の考えかたを尊重すること	26.5%
5 男性による家事、育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	41.3%
6 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの多様な働きかたを普及することで、仕事以外の時間をより、多く持てるようにすること	44.4%
7 男性の家事、育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	10.9%
8 男性が家事、育児などを行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること	7.3%
9 マス、メディアで多様な性別役割分業が描かれること	5.7%
10 その他（具体的に： ）	4.2%
11 特にない	1.8%
12 わからない	2.9%
無回答	3.1%

問 17 あなたは、女性が仕事をする事について、どのように考えますか。(○は1つ)

1	仕事をし続けた方がよい	63.4%
2	結婚するまでは仕事をした方がよい	0.5%
3	子どもが生まれるまでは仕事をした方がよい	2.6%
4	子どもができたなら仕事を辞め、子育てが終われば仕事に復帰する方がよい	9.6%
5	女性は仕事をしないで、家庭を守った方がよい	0.8%
6	その他 ( )	11.9%
7	わからない	6.5%
	無回答	4.7%

付問 17-1 問 17で「1」～「6」を選択した方にお聞きします。

あなたが、問17の回答のように考える理由は何ですか。(○は3つまで)

1	働くことを通じて自己実現が図れると思うから	53.2%
2	女性も経済力を持った方がよいと思うから	65.2%
3	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	24.9%
4	女性の能力を活用しないのはもったいないと思うから	48.2%
5	少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がよいと思うから	9.6%
6	子どもは母親が家で面倒を見た方がよいと思うから	3.5%
7	保育料などを払うより、母親が家で子どもの面倒を見る方が合理的だと思うから	0.3%
8	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから	6.7%
9	働き続けるのは大変そうだと思うから	0.9%
10	女性は家庭を守るべきだと思うから	2.0%
11	その他 ( )	9.4%
12	特になし	2.0%
13	わからない	0.0%
	無回答	0.9%

問 18 女性が妊娠・出産・育児等を理由に仕事を辞めなくてもよいようにするためには、特にどのような支援や対策が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1	休暇・休業制度を充実させる	69.9%
2	セミナー・講習会を実施する	2.1%
3	技術や技能を習得するための機会を多く設ける	15.6%
4	パートの労働条件を向上させる	27.5%
5	就職に対する相談体制を充実させる	11.2%
6	保育所等の子育て支援施設を整備する	63.9%
7	その他 ( )	13.5%
8	わからない	3.9%
	無回答	3.6%

問 19 育児休業や介護休業は男性も女性も取ることができる制度ですが、あなたは、それらの休暇を取得することについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

1 育児休業・介護休業を取った方がよい	69.6%
2 取得した方がよいと思うが、現実的には休めない	19.5%
3 取得する必要はない	1.3%
4 女性が取得した方がよい	1.3%
5 わからない	6.8%
無回答	1.6%

付問 19-1 問 19 で「2」を選択した方にお聞きします。

具体的にどのような条件があれば、取得できると思いますか。(〇は3つまで)

1 上司や同僚などの理解や協力があること	66.7%
2 以前に取得した人の事例があること	17.3%
3 育児・介護休業給付(※)を超える経済的支援が受けられること	30.7%
4 昇進や昇格に影響がないこと	45.3%
5 休業中の代替要員が確保されること	38.7%
6 職場への復帰に際しての支援があること	28.0%
7 その他( )	8.0%
無回答	1.3%

※育児・介護休業給付として、育児休業は、おおよそ賃金の67%(180日まで)または50%(181日以降)、介護休業は67%が支給されます(いずれも給付の上限・下限あり)。

## DV(ドメスティック・バイオレンス)や人権について、お聞きします

### DV(ドメスティック・バイオレンス)とは

配偶者やパートナー(※)による身体的、精神的、経済的、性的な暴力をいいます。

※配偶者やパートナーとは、夫、妻、元夫、元妻、同棲相手、恋人、元恋人など、一定期間、親密な関係にある(あった)相手を指します。

問 20 DV(配偶者や親密な間柄での暴力)被害や児童・高齢者虐待、いじめなど、人権を侵害する行為が社会問題となっています。あなたのまわりでは、人権が尊重されている社会だと思いますか。

(〇は1つ)

1 思う	44.4%	2 少し思う	28.1%
3 あまり思わない	20.0%	4 思わない	5.2%
無回答	2.3%		

付問 20-1 問 20 で、「3」または「4」を選択した方にお聞きします。

人権が尊重されていないと感じる理由は何ですか。(〇は1つ)

1 人権を侵害されたと感じた経験が実際にあるから	27.8%
2 周囲に被害者がいるから	37.1%
3 テレビやSNSを見ているとそう感じるから	29.9%
4 その他( )	4.1%
無回答	1.0%

問 21 ㊦あなたは、これまでに配偶者やパートナーから、次の項目①～⑩のような行為をされたことや見聞きしたことはありますか。（それぞれの項目について数字に〇を2つまで）

①配偶者やパートナーによるこれらの行為をDVだと思いませんか。

（それぞれの項目についてアルファベットに〇を1つずつ）

項 目	㊦されたこと、見聞きしたことがあるか (〇は2つまで)			①どう思うか (〇は1つまで)		
	ある 自分がされたことが	ある の周りの人がされてい るを見聞きしたことが	されたことも見聞き したこともない	DVだと思 う どのような場合でも	DVにはならない 相手に非があれば	DVだと思わない
記 入 例	①	②	③	Ⓐ	B	C
① 殴る、蹴る、突き飛ばす、物を投げつけるなど、暴力行為を受けた ア 無回答 4.7% イ 無回答 10.9%	1 10.4%	2 28.8%	3 57.9%	A 80.5%	B 7.3%	C 1.3%
② 大声でどなられる、命令される、脅されるなど、恐怖を感じる言葉が言われた ア 無回答 5.5% イ 無回答 12.5%	1 17.7%	2 29.1%	3 51.2%	A 73.8%	B 11.9%	C 1.8%
③ 「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」など、傷つく言葉が言われた ア 無回答 6.0% イ 無回答 13.8%	1 9.9%	2 20.8%	3 64.4%	A 74.5%	B 10.1%	C 1.6%
④ 長期間に渡って無視し続けられた ア 無回答 6.8% イ 無回答 13.8%	1 8.3%	2 18.2%	3 67.8%	A 64.7%	B 16.9%	C 4.7%
⑤ 家族や友人との関わりや、通勤・通学・遊びのため外出するのを制限された ア 無回答 6.2% イ 無回答 13.2%	1 7.3%	2 17.4%	3 69.9%	A 60.0%	B 21.3%	C 5.5%
⑥ 交友関係や電話・メールなどを細かく監視された ア 無回答 6.8% イ 無回答 14.0%	1 7.0%	2 18.2%	3 68.8%	A 61.0%	B 18.4%	C 6.5%
⑦ 必要な生活費を渡されなかったり、自由にお金を使えないようにされた ア 無回答 6.5% イ 無回答 14.0%	1 3.6%	2 16.6%	3 73.5%	A 64.9%	B 17.1%	C 3.9%
⑧ いやがっているのに性的な行為を強要されたり、避妊に協力してもらえなかった ア 無回答 7.5% イ 無回答 14.0%	1 6.2%	2 14.0%	3 73.2%	A 80.5%	B 3.6%	C 1.8%

項目	㊦されたこと、見聞きしたことがあるか (○は2つまで)			㊩どう思うか (○は1つまで)		
	ある 自分がされたことが	ある の周りの人がされている を見聞きしたことが	されたことも見聞き したこともない	DVだと思 う どのような場合でも	DVにはならない 相手に非があれば	DVだと思わない
㊨ アダルトビデオやポルノ雑誌を無理に見させられた ア 無回答 6.5% イ 無回答 14.3%	1 1.3%	2 8.6%	3 83.9%	A 76.6%	B 4.4%	C 4.7%
㊩ 別れた恋人や配偶者に対する報復として、わいせつな写真や映像を、インターネットなどで不特定多数に配布・公開された ア 無回答 6.0% イ 無回答 13.8%	1 0.5%	2 8.6%	3 84.9%	A 82.9%	B 0.8%	C 2.6%

付問 21-1 問 21㊦のいずれかの項目で「1」を選択した方にお聞きします。

あなたは、問21の項目㊨～㊩のような行為をされたことを誰かに相談したり、打ち明けたりしましたか。(○けたりしましたか。(○は1つ)

1 相談した		27.8%
2 相談したかったが、できなかった	付問 21-3へ	13.9%
3 相談しようとは思わなかった	付問 22へ	40.0%
無回答		18.3%

付問 21-2 付問 21-1で「1」を選択した方にお聞きします。

あなたが相談した相手はどなたですか。(○はいくつでも)

1 親族	43.8%	2 友人・知人	62.5%
3 ちよだDV相談ダイヤル			6.3%
4 千代田区男女共同参画センターM I W			6.3%
5 「3、4」以外の千代田区の相談			3.1%
6 東京都の相談(東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センターなど)			0.0%
7 国の相談(内閣府DV相談+など)	6.3%	8 警察	12.5%
9 民生・児童委員、人権擁護委員など			3.1%
10 弁護士、法テラス(日本司法支援センター)、家庭裁判所など			9.4%
11 医師、カウンセラーなど	18.8%	12 民間シェルター	0.0%
13 民間支援団体(市民グループなど)			6.3%
14 その他( )			6.3%
無回答			0.0%

付問 21-3 付問 21-1で「2 相談しなかったが、できなかった」を選択した方にお聞きします。

相談しなかった（できなかった）理由は何ですか。（〇は3つまで）

1	どこに相談してよいかわからなかったため	25.0%
2	相談しても無駄だと思ったため	56.3%
3	相談することによって、不快な思いをすと思ったため	12.5%
4	相談するほどのことではないと思ったため	18.8%
5	恥ずかしかったため	31.3%
6	自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったため	50.0%
7	世間体が悪いため	6.3%
8	被害を受けたことを忘れたいため	6.3%
9	自分にも悪いところがあると思ったため	18.8%
10	その他（ ）	12.5%
	無回答	0.0%

問 22 次のうち、あなたが知っているDVに関する相談先はどこですか。（〇はいくつでも）

1	ちよだDV相談ダイヤル	13.2%
2	千代田区男女共同参画センターMIW	16.9%
3	「1、2」以外の千代田区の相談	3.1%
4	東京都の相談（東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センターなど）	11.4%
5	国の相談（内閣府DV相談+など）	9.4%
6	警察	54.5%
7	民生・児童委員、人権擁護委員など	7.5%
8	弁護士、法テラス（日本司法支援センター）、家庭裁判所など	35.6%
9	医師、カウンセラーなど	14.3%
10	民間シェルター	6.8%
11	民間支援団体（市民グループなど）	4.2%
12	その他（ ）	1.6%
13	知っている相談先はない	18.2%
	無回答	6.0%

問 23 あなたは、配偶者からの暴力の防止や被害者支援のために、どのような支援や対策が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

1	家庭内でも暴力は犯罪であるという意識の啓発・理解促進のための対策	56.6%
2	緊急避難場所（シェルター）の整備や住居や就職のあっせんなど、自立して生活するための支援	51.2%
3	カウンセリングや相談など、精神的に自立するための支援	38.4%
4	加害者へのカウンセリングなど更生のための支援	25.7%
5	家庭や学校におけるお互いの性を尊重する教育の支援	25.5%
6	その他（ ）	6.2%
7	わからない	7.8%
	無回答	4.7%

◆デートDVでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

ちよだDV相談ダイヤル

TEL 03-6272-3828（相談無料・秘密厳守）

月曜日～金曜日 9時～17時（祝日・12月29日～1月3日休み）

※上記以外の時間は『内閣府DV相談+』へ

0120-279-889（24時間対応・無料）

ハラスメントとは

セクシュアル・ハラスメント

相手の意に反する性的な言葉や行為を拒否したことで、解雇などの不利益な取り扱いを受けたり、それらの言動によって不快・不安な状態に追い込み仕事に支障が生じることです。

【例えば…】上司が異性の部下の腰や胸を触ったが抵抗されたため、部下に不利益な配置転換をした。同僚が社内に性的な内容の噂を流したため、仕事が手につかない。

マタニティ・ハラスメントとは

妊娠や出産・育児休業などを理由に、解雇などの不利益な取り扱いをほのめかしたり、育児休業などの制度利用を妨害することや、嫌がらせにより仕事に支障が生じることです。

【例えば…】上司に妊娠を報告したら、他の人を雇うから辞めるように言われた。妊婦検診のために休暇を取得したいと上司に相談したら、病院は休日に行くものだと言われ相手にしてもらえなかった。

パワー・ハラスメントとは

職場での優越的な関係を背景とした言動で、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、精神的・身体的苦痛を与えられ仕事に支障が生じることです。

【例えば…】上司から人格否定や侮辱的な言動を受けた。同僚から集団で無視された。嫌がらせで仕事を与えられなかった。性的指向（好きになる性）・性自認（心の性）などの個人情報勝手に暴露された。

問 24 あなたは職場などでハラスメントを受けたことはありますか。(〇は1つ)

1	セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある	8.6%
2	マタニティ・ハラスメントを受けたことがある	1.0%
3	パワー・ハラスメントを受けたことがある	23.4%
4	その他のハラスメントを受けたことがある	1.8%
5	受けたことはないが、見たことはある	24.7%
6	受けたことも、見たこともない	35.6%
	無回答	4.9%

付問 24-1 問 24 で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。

あなたは、問24の「1」～「4」のような行為をされたことを誰かに相談したり、打ち明けたりましたか。(〇は1つ)

1	相談した	付問 24-2 へ	35.8%
2	相談したかったが、できなかった	付問 24-3 へ	17.2%
3	相談しようとは思わなかった		46.3%
	無回答		0.7%

付問 24-2 付問 24-1で「1 相談した」を選択した方にお聞きします。

あなたが相談した相手はどなたですか。(〇はいくつでも)

1 親族	22.9%
2 友人・知人	45.8%
3 千代田区男女共同参画センターMIW	0.0%
4 「3」以外の千代田区の相談	2.1%
5 東京都の相談(東京都ろうどう110番など)	2.1%
6 国の相談(総合労働相談コーナーなど)	4.2%
7 弁護士、法テラス(日本司法支援センター)など	10.4%
8 医師、カウンセラーなど	8.3%
9 社内相談窓口	20.8%
10 その他( )	33.3%
無回答	0.0%

付問 24-3 付問 24-1で「2 相談したかったが、できなかった」を選択した方にお聞きします。

相談しなかった(できなかった)理由は何ですか。(〇は3つまで)

1 どこに相談してよいかわからなかったため	13.0%
2 相談しても無駄だと思ったため	87.0%
3 相談することによって、不快な思いをすと思ったため	26.1%
4 相談するほどのことではないと思ったため	8.7%
5 恥ずかしかったため	8.7%
6 自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったため	47.8%
7 世間体が悪いため	4.3%
8 被害を受けたことを忘れたいため	13.0%
9 自分にも悪いところがあると思ったため	0.0%
10 その他( )	0.0%
無回答	0.0%

問 25 次のうち、あなたが知っているハラスメントに関する相談先はどこですか。

(〇はいくつでも)

1 千代田区男女共同参画センターMIW	16.6%
2 「1」以外の千代田区の相談	4.2%
3 東京都の相談(東京都ろうどう110番など)	12.5%
4 国の相談(総合労働相談コーナーなど)	15.3%
5 弁護士、法テラス(日本司法支援センター)など	39.0%
6 医師、カウンセラーなど	14.0%
7 社内相談窓口	28.6%
8 その他( )	2.6%
9 知っている相談先はない	21.3%
無回答	7.3%

**LGBTQとは**

「L=レズビアン（女性同性愛者）」「G=ゲイ（男性同性愛者）」「B=バイセクシュアル（両性愛者）」「T=トランスジェンダー（心と身体の性が一致しない人）」「Q=クエスチョニング（性的自認、志向が定まっていない・決めていない人）」の頭文字で表しています。「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」と表現することもあります。

問26 あなたは、今までに性的指向（好きになる性）や性自認（心の性）について悩んだことはありますか。または、周囲の人で悩んでいる人はいましたか。（○は1つ）

1 悩んだことがある（今、悩んでいる）	4.2%
2 悩んだことはないが、周囲に悩んでいる人がいた（いる）	19.7%
3 悩んだことはなく、周囲にもいなかった	73.0%
無回答	3.1%

問27 あなたは、性的少数者の人に対し、特にどのような人権侵害が起きていると思いますか。（○は2つまで）

1 職場や学校で嫌がらせやいじめを受けるといった人権侵害が起きている	30.9%
2 就職や職場で不利な扱いを受ける	19.5%
3 差別的な言動を受ける	40.5%
4 じろじろ見られたり、こそこそと話をされたりする	31.4%
5 特に人権侵害は受けていない	20.8%
無回答	6.0%

問28 あなたは、LGBTQの方々の人権を守るために、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

1 理解を深めるための教育を学校で行う	54.0%		
2 理解を深めるための啓発活動を行政が行う	34.3%		
3 相談・支援体制を充実させる	24.4%		
4 LGBTQであっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する	42.3%		
5 その他（	）	3.1%	
6 特に必要なことはない	9.1%	7 わからない	12.2%
無回答			3.4%

◆好きになる性（性的指向）や心の性（性自認）などでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

・千代田区男女共同参画センターMIW相談室（LGBTQ相談）

☎03-5211-4316（予約専用電話）

<https://miw.city.chiyoda.lg.jp/soudan-2/#LGBT>

・TokyoLGBT相談（東京都性自認及び性的指向に関する専門電話相談）

☎050-3647-1448 / LINEアカウント「LGBT相談@東京」



区政への女性の参画について、お聞きします

問 29 あなたは、千代田区の議会・審議会（※1）等に占める女性の割合や、区職員の管理職等に占める女性の割合について、どう思いますか。（それぞれの項目について○は1つずつ）

	よ今 いの ままで	よえも いたう ほ少 うし が増	うで男 が女 増女 え半 た々 たほ ま	がる男 増ほ えど た女 上ほ 性回	ほだ性 うわ別 がわら がらに よない いこ	わ か ら な い
① 区議会議員に占める女性の割合 ・現状値（令和7年4月）：33.3% 無回答 2.3%	1 2.9%	2 27.3%	3 26.5%	4 2.9%	5 30.1%	6 8.1%
② 区審議会等の委員に占める女性の割合 ・目標値※2（令和8年度末）：40～60% ・現状値（令和7年4月）：30.9% 無回答 2.6%	1 2.9%	2 25.5%	3 29.1%	4 3.1%	5 28.8%	6 8.1%
③ 区管理職等に占める女性の割合 ・目標値（令和8年度末）：40.0% ・現状値（令和7年4月）：35.0% （管理職 25.5%・係長級 32.5%） 無回答 2.9%	1 3.6%	2 25.7%	3 24.9%	4 3.4%	5 31.9%	6 7.5%

※1 諮問に応じて、特別の事項を調査、審議する合議制の機関をいいます。

※2 「第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画」（令和4～令和8年度）に掲げる目標値です。

男女共同参画社会の実現に向けた取組について、お聞きします

問 30 あなたは、千代田区男女共同参画センターMIW（ミュウ）を利用したことはありますか。（○は1つ）

1 利用したことがある 2.9%	2 知っているが、利用したことがない 30.6%
3 知らない 63.6%	無回答 2.9%

問31 あなたは、男女共同参画センターMIWで実施する次の事業を知っていますか。

(〇はいくつでも)

1	MIW相談員による一般相談	13.5%
2	女性弁護士による法律相談	4.9%
3	LGBTQ相談	5.5%
4	男女共同参画に関する各種講座・講演会・展示会	9.4%
5	情報ライブラリ(図書や資料の貸出)	6.0%
6	ホームページ・メールマガジン・フェイスブック・YouTubeの運営	2.1%
7	情報誌「MIW通信」の発行	4.2%
8	ライブラリニュース「みゅう」の発行	2.3%
9	ビデオサロン&カフェ(DVD上映と交流)	3.1%
10	MIW祭り	1.8%
11	MIW運営協議会	0.8%
12	その他( )	1.0%
13	どれも知らない	71.4%
	無回答	4.7%

問 32 あなたは、次の言葉や取組を知っていますか。(それぞれの項目について〇は1つずつ)

			知っている	意味(内容)を 容)は知らない	聞いたことがな
① 男女共同参画社会基本法	無回答 3.6%	1	2	3	33.2% 42.3% 20.8%
② 男女雇用機会均等法	無回答 3.4%	1	2	3	69.9% 21.6% 5.2%
③ 配偶者暴力防止法(DV防止法)	無回答 3.4%	1	2	3	44.7% 39.0% 13.0%
④ 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律	無回答 3.9%	1	2	3	11.7% 29.6% 54.8%
⑤ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	無回答 3.9%	1	2	3	13.5% 34.5% 48.1%
⑥ 千代田区ジェンダー平等推進行動計画	無回答 4.7%	1	2	3	7.0% 24.7% 63.6%
⑦ デートDV 交際相手からの精神的・身体的・性的暴力	無回答 3.4%	1	2	3	47.0% 21.3% 28.3%
⑧ リプロダクティブ・ヘルツ&ライツ(生と生殖に関する健康と権利) 自分の体に関することを自分自身で決めることができ、 そのための健康を享受できること	無回答 3.6%	1	2	3	14.3% 15.3% 66.8%
⑨ SOGI(ソジ・ソギ) すべての人が持つ性的指向(好きになる性/Sexual Orientation=SO)と性自認(心の性/Gender Identity=GI)の略	無回答 3.6%	1	2	3	7.3% 10.9% 78.2%
⑩ ダイバーシティ&インクルージョン 一人一人の多様性を受け入れ、認め合い、活かし合うこと	無回答 3.6%	1	2	3	45.5% 21.0% 29.9%
⑪ アンコンシャスバイアス 無意識の偏見や思い込み	無回答 3.1%	1	2	3	36.4% 15.6% 44.9%

問 33 ジェンダー平等社会の形成のため特に区が取り組むべきこと（性的マイノリティ施策、DV 被害防止施策を含む）だと思えるものはどれですか。（〇は3つまで）

1	ジェンダー平等に関する講習会や学習機会の充実	16.9%
2	ジェンダー平等に関する相談窓口の充実	17.1%
3	男性のための悩み相談	5.7%
4	ジェンダー平等に関する情報誌や図書、資料コーナーの充実	2.9%
5	女性のキャリアアップ、企業、就業に役立つ訓練、相談や再就職支援	21.0%
6	育児、介護制度の充実	27.8%
7	性別、年代別のニーズに応じた健康支援	10.1%
8	仕事と生活の調和、ワーク・ライフ・バランス、を推進するための取り組み	20.8%
9	男性に向けたジェンダー平等に関する啓発	6.2%
10	地域コミュニティでのジェンダー平等の推進	8.1%
11	防災分野で多様な性別からの視点を活かす取り組み	7.8%
12	あらゆる暴力の根絶に向けた取り組み	18.2%
13	審議会などへの女性の参加推進	4.4%
14	多様な性のありかたに関する理解促進、支援体制の整備	10.9%
15	民間の団体、グループの自主活動の支援	2.6%
16	包括的性教育の推進	7.3%
17	その他（具体的に： )	2.9%
18	特にない	6.5%
19	わからない	10.1%
	無回答	5.2%

問 34 あなたが男女平等・男女共同参画の推進について、日頃感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

あなた自身やご家族について、お聞きします

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

1 男性	44.9%	2 女性	52.4%	3 どちらともいえない	2.4%
無回答	0.3%				

問2 あなたの学年を教えてください。(〇は1つ)

1 中学2年生	19.5%	2 中学3年生	24.9%	3 高校1年生	18.9%
4 高校2年生	17.4%	5 高校3年生	18.3%	6 社会人・その他	0.9%
無回答	0.3%				

問3 あなたの父親・母親は、現在、どのように働いていますか。

(それぞれの項目について〇は1つずつ)

項目	選択肢	
父親 無回答 0.6%	1 外で働いている	78.7%
	2 家で働いている	11.1%
	3 主夫(主に家で家事や育児等をしている)	0.6%
	4 その他( )	1.8%
	5 わからない・一緒に暮らしていない	7.2%
母親 無回答 0.3%	1 外で働いている	59.3%
	2 家で働いている	12.3%
	3 主婦(主に家で家事や育児等をしている)	25.4%
	4 その他( )	1.2%
	5 わからない・一緒に暮らしていない	1.5%

あなたの日々の生活や学校生活について、お聞きします

問4 あなたは、今の社会では性別等の違いによって立場の強さに違いがあると思いますか。

(それぞれの項目について〇は1つずつ)

分野	(強い立場にある) 優遇されている 男性の方がとても	(強い立場にある) の方が優遇されている どちらかと言えば男性	平等だと思っている	(強い立場にある) の方が優遇されている どちらかと言えば女性	(強い立場にある) 優遇されている 女性の方がとても	わからない
① 家庭生活 無回答 0.0%	1 6.3%	2 24.3%	3 48.5%	4 10.5%	5 3.0%	6 7.5%
② 学校教育の場 無回答 0.0%	1 2.7%	2 12.3%	3 54.2%	4 12.3%	5 3.0%	6 15.6%
③ 社会全体として 無回答 0.6%	1 15.0%	2 45.2%	3 16.8%	4 9.3%	5 3.0%	6 10.2%

問4-1 問4で、「3」以外に○を付けた方にお聞きします。

あなたは次の分野①～③について、性別等によって不利益を被った経験はありますか？  
(それぞれの項目について○は1つずつ)

分野	ある	ない	実際に経験したことはないが、見聞きしたことはある
① 家庭生活 無回答 5.2%	1 16.9%	2 50.0%	3 27.9%
② 学校教育の場 無回答 11.8%	1 24.8%	2 37.3%	3 26.1%
③ 社会全体として 無回答 5.1%	1 14.9%	2 34.1%	3 46.0%

問5 あなたが家でしている、あるいはすることがある手伝いは何ですか。(あてはまるものをすべてに○)

1 食事のしたく 41.9%	2 食事の片づけ 59.6%	3 そうじ 35.6%
4 洗濯 31.7%	5 買い物 33.2%	6 きょうだいの世話をする 21.3%
7 家族の介護(かいご) 0.9%	8 その他( ) 6.3%	
9 何もしていない 14.1%	無回答	0.9%

問6 あなたは「男または女だから○○しなさい」と注意されたことがありますか。(あてはまるものをすべてに○)

1 言葉づかい話し方 26.6%	2 部屋の整理整頓 7.8%
3 家の仕事の手伝い(そうじ、買い物など) 8.1%	4 食べ方やすわり方など行儀 26.0%
5 勉強 5.7%	6 家に帰る時間 13.2%
7 服装・髪型・外見を整えること(かみがた) 19.5%	8 その他( ) 3.3%
9 注意されたことはない 51.8%	無回答 1.5%

問6-1 問6で「注意されたことはない」以外のいずれかを選択した場合に教えてください。だれから言われましたか。(あてはまるものをすべてに○)

1 父親 40.4%	2 母親 73.1%	3 きょうだい 5.1%
4 祖父母 28.2%	5 友達 10.3%	6 先生 16.7%
7 親せきの人 9.0%	8 その他( ) 3.2%	無回答 3.2%

問6-2 問6-1で答えた人から注意されたとき、どのように思いましたか。(○は1つ)

1 そのとおりだと思った 46.4%
2 いやだなと思った 37.7%
3 その他( ) 13.9%
無回答 2.0%

問7 あなたの家で、次の項目①～⑧の事柄を主にしているのは誰ですか。

(それぞれの項目について○は1つずつ)

項目	主に男性 (父、兄、 弟、祖父 等)	主に女性 (母、姉、 妹、祖母 等)	男性と女性 が同程度に 分担	その他 (家族以外の 人や、家事代 行サービス 等)	わからない
① 食料品などの買い物 無回答 1.2%	1 6.0%	2 56.6%	3 32.3%	4 0.9%	5 3.0%
② 食事のしたく 無回答 0.6%	1 4.8%	2 72.8%	3 19.5%	4 0.0%	5 2.4%
③ 食事の片づけ 無回答 0.6%	1 9.3%	2 54.8%	3 31.7%	4 0.3%	5 3.3%
④ そうじ 無回答 0.6%	1 8.7%	2 58.7%	3 28.7%	4 0.9%	5 2.4%
⑤ 洗濯 無回答 0.6%	1 9.3%	2 64.4%	3 23.4%	4 0.3%	5 2.1%
⑥ ゴミ出し 無回答 0.6%	1 26.0%	2 36.2%	3 35.0%	4 0.3%	5 1.8%
⑦ 家族の介護 無回答 0.9%	1 4.2%	2 21.0%	3 11.1%	4 7.5%	5 55.4%
⑧ 生活費をかせぐこと 無回答 0.6%	1 51.8%	2 8.7%	3 35.0%	4 0.3%	5 3.6%

問8 あなたは、学校生活の中で、男性と女性では役割に違いがあると感じることがありますか。(○は1つ)

1 ある	12.0%	2 時々、ある	15.0%	3 特にない	72.5%
無回答	0.6%				

問8-1 問8で、「1」「2」に○をつけた方にお聞きします。

そう感じたのはどのような時ですか。具体的な場面があれば、それも教えてください。

問9 ②あなたの学校やクラスでは、次の項目は男性と女性どちらがその役割を担うことが多いですか。  
 (それぞれの項目について数字に○を1つずつ)

①あなたは、男性と女性のどちらがその役割を担うべきだと思いますか。

(それぞれの項目についてアルファベットに○を1つずつ)

	②誰がしているか			①誰がするのがよいと思うか			
	女性より男性の方が多い	男性より女性の方が多い	特に偏りは ない	男性	女性	性別にはこだわらない方がよい	女性より男性の方が多い
記入例	①	2	3	A	B	C	D
① 生徒会長・学級委員 (クラス委員) 無回答 ア 2.1%イ 1.5%	1 13.8%	2 12.9%	3 71.3%	A 5.1%	B 3.0%	C 83.5%	D 6.9%
② 理科の実験を中心的に行う 無回答 ア 2.1%イ 1.2%	1 9.9%	2 13.2%	3 74.9%	A 3.9%	B 2.4%	C 84.1%	D 8.4%
③ 家庭科の調理実習を中心的に行う 無回答 ア 2.4%イ 2.1%	1 7.5%	2 29.6%	3 60.5%	A 1.5%	B 7.2%	C 81.7%	D 8.1%
④ 教室や校庭などを掃除する 無回答 ア 2.1%イ 1.8%	1 7.2%	2 15.3%	3 75.4%	A 2.4%	B 2.7%	C 86.5%	D 6.6%
⑤ 学校行事の準備や後片付けを行う 無回答 ア 2.1%イ 1.5%	1 11.1%	2 12.9%	3 74.0%	A 3.9%	B 2.1%	C 87.4%	D 5.1%

あなたの将来について、お聞きします

問10 あなたは、将来なりたいと思う職業はありますか。(○は1つ)

1 ある	52.4%	2 現在(今)は、まだない	37.4%
3 わからない	7.2%	4 働きたくない	2.1%
無回答	0.9%		

問11 将来なりたい職業を実現する上で、「男性であること」もしくは「女性であること」といった性別が影響すると思いますか。(○は1つ)

1 影響する	12.0%	2 少し影響する	36.5%
3 あまり影響しない	16.5%	4 影響しない	20.1%
5 わからない	14.4%	無回答	0.6%

問 12 あなたは、結婚<sup>けっこん</sup>についてどのように思いますか。(〇は1つ)

1 結婚 <sup>けっこん</sup> する方がよい	22.2%	2 できれば結婚 <sup>けっこん</sup> する方がよい	21.3%
3 どちらでもよい	27.5%	4 必ずしもしなくてもよい	21.9%
5 しない方がよい	2.1%	6 わからない	4.2%
無回答	0.9%		

問 13 あなたは、結婚<sup>けっこん</sup>したら夫婦で共働きをしたいと思いませんか。(〇は1つ)

1 共働きをしたい	46.4%	2 共働きはしたくない	6.0%
3 どちらでもよい	38.3%	4 わからない	8.7%
無回答	0.6%		

**DV (ドメスティック・バイオレンス) や人権について、お聞きします**

**DV (ドメスティック・バイオレンス) とは**

配偶者やパートナー(※)による身体的、精神的、経済的、性的な暴力をいいます。

※配偶者やパートナーとは、夫、妻、元夫、元妻、同棲相手、恋人、元恋人など、一定期間、親密な関係にある(あった)相手を指します。

**デートDVとは**

恋人(彼氏・彼女)からのいやがらせや暴力のことです。

問 14 DV(配偶者や親密な間柄での暴力)被害や児童・高齢者虐待、いじめなど、人権を侵害する行為が社会問題となっています。あなたのまわりでは、人権が尊重されている社会であると思いませんか。(〇は1つ)

1 思う	53.9%	2 少し思う	27.8%
3 あまり思わない	11.4%	4 思わない	6.0%
無回答	0.9%		

付問 14-1 上記の設問で、3、または4を選択<sup>せんたく</sup>した方にお聞きします。

人権が尊重されていないと感じる理由は何ですか。(〇は1つ)

1 人権を侵害されたと感じた経験が実際にあるから	19.0%
2 周囲に被害者がいるから	20.7%
3 テレビやSNSを見ているとそう感じるから	46.6%
4 その他( )	5.2%
無回答	8.6%

問 15 あなたは「デートDV」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

1 言葉の意味を知っている	35.0%
2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない	15.3%
3 全く知らない	46.7%
無回答	3.0%

問 16 あなたは、恋人の間で起こる次の項目①～⑧のような行為をされたことや見聞きしたことはありますか。（それぞれの項目について〇は2つまで）

項目	されたこと、見聞きしたことがあるか（〇は2つまで）		
	自分がされたことがある	見聞きしたことがある	周りの人がさ れているのを 見聞きしたこ とがある
記入例	①	2	3
① たたく、ける、髪を引っ張る、物を投げつける 無回答 2.7%	1 11.1%	2 85.0%	3 1.8%
② 大声でどなる、おどす 無回答 1.5%	1 4.5%	2 14.4%	3 80.2%
③ 馬鹿にしたり、傷つく言葉を言う 無回答 1.5%	1 6.6%	2 18.3%	3 74.6%
④ 無視し続ける 無回答 1.5%	1 3.6%	2 11.4%	3 83.8%
⑤ 友人との連絡・付き合いを制限する 無回答 1.2%	1 4.5%	2 22.5%	3 72.2%
⑥ スマホのメール※や発信・着信履歴を勝手に見る 無回答 1.2%	1 3.0%	2 13.5%	3 82.3%
⑦ デートに必要なお金を無理に払わせる 無回答 1.2%	1 0.3%	2 7.5%	3 91.0%
⑧ いやがっているのにキスしたり、体に触る 無回答 1.2%	1 0.9%	2 9.6%	3 88.3%

※LINEやSNSアプリ（エックス（旧ツイッター）・Instagram・Tik Tok（ティックトック）など）でのDM（ダイレクトメッセージ）も含まれます。

◆デートDVでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

ちよだDV相談ダイヤル

Tel. 03-6272-3828（相談無料・秘密厳守）

月曜日～金曜日 9時～17時（祝日・12月29日～1月3日休み）

※上記以外の時間は『内閣府DV相談+』へ

0120-279-889（24時間対応・無料）

エルジービーティーキュー

**LGBTQとは**

「L=レズビアン（心の性が女性で恋愛対象も女性の人）」「G=ゲイ（心の性が男性で恋愛対象も男性の人）」「B=バイセクシャル（恋愛対象が女性にも男性にも向いている人）」「T=トランスジェンダー（心と身体の性が一致しない人）」「Q=クエスチョニング（性的自認、志向が定まっていない・決めていない人）」の頭文字で表しています。「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」と表現することもあります。

問 17 あなたは、今までに、好きになる性（性的指向）や心の性（性自認）について悩んだことはありますか。また、周りの人で悩んでいる人はいますか。（○は1つ）

1 悩んだことがある（今、悩んでいる）	10.8%
2 悩んだことはないが、周りで悩んでいる人がいた（いる）	11.4%
3 悩んだことはなく、周りにも悩んでいる人はいなかった	77.8%
無回答	0.0%

付問 17-1 問 17で「1」「2」を選択した方だけ回答ください。

あなたは、その悩みを誰かに相談しましたか。（○はいくつでも）

1 親に相談した	6.8%	2 きょうだいに相談した	1.4%
3 その他の家族に相談した	0.0%	4 友だちに相談した	27.0%
5 学校の先生に相談した	4.1%	6 学校の保健室の先生に相談した	5.4%
7 その他の人（所）に相談した	8.1%	8 相談したかったが、できなかった	5.4%
9 相談しようとは思わなかった	54.1%	無回答	2.7%

問 18 あなたは、「LGBTQ」という言葉を知っていましたか。（○は1つ）

1 言葉の意味を知っている	80.5%
2 言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない	9.3%
3 全く知らない	9.9%
無回答	0.3%

問 19 あなたは、学校等でジェンダーや多様性について学ぶ授業を受けたことがありますか。（○は1つ）

1 ある	70.7%	2 ない	14.1%	3 わからない	15.3%
無回答	0.0%				

問 20 あなたは、<sup>エルジービーティーキュー</sup> L G B T Q の方々の人権を守るために、区がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1	理解を深めるための教育を学校で行う	52.4%
2	理解を深めるための啓発活動 <sup>けいはつ</sup> を千代田区が行う	21.3%
3	相談・支援体制を充実させる	39.8%
4	<sup>エルジービーティーキュー</sup> L G B T Q であっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する	41.9%
5	その他 ( )	1.8%
6	特に必要なことはない	11.4%
7	わからない	10.8%
	無回答	0.3%

◆好きになる性<sup>せいてきしこう</sup> (性的指向) や心の性<sup>せいじにん</sup> (性自認) などでお悩みの方は、一人で悩まず相談窓口へご相談ください。

・千代田区<sup>だんじょきょうどうさんかく</sup> 男女共同参画センターMIW相談室<sup>エルジービーティーキュー</sup> (L G B T Q 相談)

☎03-5211-4316 (予約専用電話)

<https://miw.city.chiyoda.lg.jp/soudan-2/#LGBT>

・Tokyo LGBT相談 (東京都性自認及び性的指向に関する専門電話相談)

☎05-3647-1448 / LINEアカウント「LGBT相談@東京」



<sup>だんじょきょうどうさんかく</sup> 男女共同参画社会の実現に向けた取組についてお聞きします

<sup>だんじょきょうどうさんかく</sup> 「男女共同参画」とは

性別にかかわらず、一人ひとりの個性が<sup>そんちよう</sup> 尊重された多様な生き方ができ、家庭、地域、仕事などのあらゆる分野に平等に積極的に関わることができることです。

問 21 あなたは、<sup>だんじょきょうどうさんかく</sup> 「男女共同参画」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

1	言葉の意味を知っている	57.8%
2	言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない	16.2%
3	全く知らない	25.7%
	無回答	0.3%

問 22 「男性は仕事をして、女性は家庭を守る」という性別で役割を分担する考え方がありますが、あなたはこの考え方に共感しますか。(〇は1つ)

1	共感する	15.0%	2	共感しない	65.3%	3	わからない	19.5%
	無回答	0.3%						

問 23 あなたは、女性が仕事をする事について、どのように考えますか。(〇は1つ)

1	仕事をし続けた方がよい	36.2%
2	<sup>けっこん</sup> 結婚するまでは仕事をした方がよい	3.0%
3	子どもが生まれるまでは仕事をした方がよい	6.3%
4	子どもができたなら仕事を辞め、子育てが終われば仕事に復帰する方がよい	20.7%
5	女性は仕事をしないで、家庭を守った方がよい	0.6%
6	その他 ( )	18.0%
7	わからない	14.1%
	無回答	1.2%

## ジェンダーとは

生物学的な性別の違いではなく、社会的・文化的につくられる性別の違いです。人々の意識の中につくられた「男性像」「女性像」といった性別による役割分担を意味する言葉として使われます。

問 24 あなたは、テレビやインターネットなどのメディアが発信するジェンダー表現について、<sup>ひころ</sup>日頃どのように感じますか。(〇はいくつでも)

1 男女のステレオタイプな表現（「男性は仕事、女性は家事・育児」、「男らしく、女らしく」など）を発信している	18.0%
2 色で性別を分けるなど、興味関心や服装・外見等の個性を無視したり軽くみたりしている	21.3%
3 特に女性について、見た目や若さを強調している	26.6%
4 伝えたい内容と関係がないのに、女性の性的な部分を強調する表現が目立つ	9.9%
5 <sup>エルジービーティーキュー</sup> L G B T Q を差別している	6.0%
6 その他（ )	3.9%
7 おかしいと思うことはない	26.0%
8 わからない	23.1%
無回答	0.6%

問 25 あなたがジェンダー平等や<sup>だんじょきょうどうさんかく</sup>男女共同参画について、<sup>ひころ</sup>日頃感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

貴事業所について、お聞きします

問1 貴事業所の産業分類は次のどれに該当しますか。(〇は1つ)

※本社、支店、営業所等も合計した企業全体についてお答えください。

1 農業、林業	0.0%	2 鉱業、採石業、砂利採取業	0.0%
3 建設業	6.1%	4 製造業	6.6%
5 電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	6 情報通信業	20.3%
7 運輸業、郵便業	1.5%	8 卸売業	16.2%
9 小売業	3.6%	10 金融業、保険業	4.6%
11 不動産業、物品賃借業	5.1%	12 学術研究、専門・技術サービス業	5.1%
13 宿泊業	0.5%	14 飲食サービス業	2.0%
15 生活関連サービス業、娯楽業	1.5%	16 教育、学習支援業	0.5%
17 医療、福祉	1.0%	18 サービス業(他に分類されないもの)	18.8%
19 その他( )	6.1%	無回答	0.5%

問2 貴事業所の従業員規模は次のどれに該当しますか。(〇は1つ)

※本社、支店、営業所等も合計した企業全体についてお答えください。

1 1人以上～30人以下	44.7%	2 31人以上、100人以下	26.4%
3 101人以上、300人以下	20.8%	4 301人以上	8.1%
無回答	0.0%		

問3 貴事業所の資本金は次のどれに該当しますか。(〇は1つ)

1 500万円以下	7.6%	2 500万円超、1,000万円以下	24.9%
3 1,000万円超、2,000万円以下	13.2%	4 2,000万円超、5,000万円以下	24.4%
5 5,000万円超、1億円以下	16.8%	6 1億円超、3億円以下	3.0%
7 3億円超	10.2%	無回答	0.0%

問4 貴事業所の従業員数を雇用形態別にご記入ください。

※企業全体ではなく、貴事業所のみ的人数をお答えください。

	男性	女性
正規従業員	人	人
非正規従業員(※)	人	人

※パート、契約社員等の数を記入してください。派遣社員については、貴事業所が派遣元で、給与の支払いを受けている人数を記入してください。貴事業所が派遣先の場合は記入しないでください。

問5 従業員（非正規従業員含む）の平均年齢および、平均勤続年数をお答えください。（それぞれの項目について○は1つずつ）

従業員	男性	平均年齢	1 18～29歳 3.0%	2 30～39歳 23.4%	3 40～49歳 40.1%	4 50～59歳 22.3%	5 60～69歳 5.6%	6 70歳以上 2.5%	無回答 3.0%
		平均勤続年数	1 3年未満 6.6%	2 3～5年未満 12.7%	3 5～10年未満 28.9%	4 10～15年未満 22.8%	5 15～20年未満 14.7%	6 20年以上 9.1%	無回答 5.1%
	女性	平均年齢	1 18～29歳 6.6%	2 30～39歳 34.5%	3 40～49歳 36.5%	4 50～59歳 10.2%	5 60～69歳 2.0%	6 70歳以上 0.0%	無回答 10.2%
		平均勤続年数	1 3年未満 10.7%	2 3～5年未満 17.8%	3 5～10年未満 29.9%	4 10～15年未満 20.8%	5 15～20年未満 7.1%	6 20年以上 3.0%	無回答 10.7%

女性の活躍推進について、お聞きします

女性活躍推進法の改正について

令和元年6月5日、女性活躍推進法等の一部を改正する法律が公布されました。

【概要抜粋】 詳細やその他の改正内容は、厚生労働省ホームページ等をご覧ください。

- ① 常時雇用する労働者が300人以上の事業主について、一般事業主行動計画（※）の策定や情報公表の内容が順次変更（令和2年4月1日以降順次施行）
- ② 一般事業主行動計画の策定・届出及び情報公表の義務が、常時雇用する労働者が101人以上の事業主に拡大（現行は301人以上の事業主が義務）（令和4年4月1日施行）

※一般事業主行動計画とは

女性の職業生活における活躍の推進に向けて、一般事業主は、自社の女性の活躍に関する状況を把握し、その状況から課題を分析し、その結果を勘案し、①計画期間、②数値目標、③取組内容、④取組の実施時期を盛り込み策定するものです。

※本調査票に掲載した「女性活躍推進法の改正内容」【概要抜粋②】の記載に、一部誤記がありました。

なお、当該誤記は調査結果の集計・分析には影響しません。

正しい記載は以下のとおりです。

『②一般事業主行動計画の策定・届出及び情報公表の義務が、常時雇用する労働者が101人以上の事業主に拡大（令和4年4月1日施行）』

問6 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定については知っていましたか。また、策定はされていますか。（○は1つ）

→ 付問6-1へ

1 策定済みである	26.4%
2 策定していない、その予定もない	36.5%
3 法律や行動計画を知らなかった	35.5%
無回答	1.5%

付問6-1 問6で「2」を選択した事業所のみ回答ください。

行動計画を策定しない理由は何ですか。(〇は1つ)

1 現在策定している、または策定予定	5.6%
2 次世代育成支援対策推進法に規定される事業主行動計画(※)と一体型で策定	0.0%
3 大切だとは思いますが、行動計画を策定する余裕がない	16.7%
4 雇用環境が整っているのに、行動計画を策定する必要がない	13.9%
5 そのような制度が必要ないと思うから	1.4%
6 策定すべき内容や策定方法等の詳細がわからないから	1.4%
7 従業員数が基準以下であり、行動計画を策定する義務がないから	54.2%
8 その他( )	4.2%
無回答	2.8%

※事業主が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などに取り組むにあたって、①計画期間、②目標、③目標を達成するための対策と実施時期を具体的に盛り込み策定するものです。常時雇用する従業員が101人以上の事業主には、行動計画の策定・届出・公表・周知が義務づけられています。

問7 貴事業所には、係長相当職以上の管理職及び女性管理職は何人いますか。

(該当のない場合は「0」と記入ください)

管理職 登用状況	管理職数	
		うち女性
役員	人	人
部長相当職	人	人
課長相当職	人	人
係長相当職	人	人

※管理職には、企業の組織系列の各部署において、配下の係員等を指揮・監督する役職のほか、専任職、スタッフ管理職等と呼ばれる役職を含みます。

※部長・課長等の役職名を採用していない場合や次長等の役職欄にない職については、貴事業所の実態に応じて、該当する役職を判断してください。

付問7-1 女性管理職が少ない(全管理職のうち1割未満)またはまったくいない区分が1つでもある事業所のみ回答してください。

貴事業所の女性管理職が少ないのは、なぜだと思いますか。(〇は3つまで)

1 必要な経験・判断力を有する女性がないから	23.4%
2 女性従業員が管理職になることを希望しないから	12.7%
3 将来管理職につく可能性のある女性はいるが、役職につく在籍年数を満たしていないから	14.7%
4 勤続年数が短く、管理職になる前に退職してしまうから	10.7%
5 男性従業員が女性管理職を希望しないから	0.0%
6 顧客が女性管理職をよく思わないから	0.0%
7 女性従業員が少ない、またはいないから	28.4%
8 その他( )	10.7%
無回答	28.4%

問8 貴事業所は女性が活躍するための取組が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

1 進んでいる	17.3%	2 ある程度進んでいる	48.7%
3 あまり進んでいない	24.9%	4 進んでいない	7.6%
無回答	1.5%		

付問8-1 問8で「1」または「2」を選択した事業所のみ回答してください。

貴事業所では、取組を実施し、特にどのような効果がありましたか。(〇は3つまで)

1 女性従業員の労働意欲が向上した	40.0%		
2 男性従業員が女性従業員を対等な存在として見るようになった	26.2%		
3 取引先や顧客からの評判が良くなった	9.2%		
4 優秀な人材を採用できるようになった	24.6%		
5 売上や利益率が向上した	6.2%	6 生産性向上や競争力強化につながった	8.5%
7 従業員の就業継続率が向上した	20.8%	8 特に目立った効果はなかった	13.1%
9 社員又は取引先からの理解が得にくく、かえてマイナスであった	0.0%		
10 その他 ( )	10.0%	無回答	3.1%

付問8-2 問8で「3」または「4」を選択した事業所のみ回答してください。←

貴事業所の女性の活躍が進んでいないのは、なぜだと思いますか。(〇は3つまで)

1 早く退職してしまうから	23.4%
2 家事・育児等の家庭生活のため、通勤や超過勤務に制約があるから	21.9%
3 本人が昇進を望まない、または仕事に対して消極的であるから	26.6%
4 女性が十分に活躍しているわけではないが、現状のままでも問題ないから	25.0%
5 男性従業員の意識・理解が不十分であるから	6.3%
6 トップの意識・理解が不十分であるから	6.3%
7 その他 ( )	28.1%
無回答	9.4%

問9 女性従業員が実際に従事している職種・業務について教えてください。(〇はいくつでも)

1 営業	35.0%	2 接客	13.2%	3 経理	60.9%	4 事務	67.0%
5 管理職	35.5%	6 製造・技術	14.2%	7 専門職	34.5%	8 特にない	0.5%
9 女性従業員が少ない、またはいない	7.6%	10 その他 ( )					5.1%
無回答	2.0%						

問 10 貴事務所では、女性従業員の活躍を推進する上で、特にどのような課題がありますか。

(〇は3つまで)

1	女性従業員の勤続年数が平均的に短い	20.3%
2	育児、介護、家事等、家庭の事情で急に休むことが多い	22.3%
3	顧客や取引先の女性従業員に対する信頼度が低い	1.0%
4	男性従業員が多く、男性従業員の女性従業員に対する認識・理解が不十分である	8.1%
5	女性従業員には時間外労働、深夜労働をさせにくい	10.2%
6	女性従業員のための就業環境の整備にコストがかかる	7.1%
7	重量物の取り扱いや危険有害業務について、女性従業員には法制上の規制がある	3.6%
8	女性従業員の活躍を推進する方法がわからない	3.6%
9	その他 ( )	12.2%
10	特に課題はなく、女性従業員が活躍している	35.5%
	無回答	3.0%

### 育児・介護休業について、お聞きします

#### 育児・介護休業法の改正について

【概要抜粋】 詳細やその他の改正内容は、厚生労働省ホームページ等をご覧ください。

#### ①子の看護休暇・介護休暇の1時間単位の取得（令和3年1月1日改正）

育児や介護を行う労働者が、子の看護休暇や介護休暇を時間単位で取得することが可能に。

#### ②子の看護休暇・介護休暇を取得できる対象者の拡大（令和3年1月1日改正）

すべての労働者が子の看護休暇および介護休暇を取得可能に。

#### ③雇用環境の整備・育児休業制度の周知・育児休業の取得意向の確認の義務化（令和4年1月1日改正）

育児休業の取得の促進に向けて、以下の2点が事業者には義務付けられました。

- ・ 育児休業を取得しやすい雇用環境の整備のために、研修の実施や相談窓口の設置を行う義務
- ・ 妊娠・出産（本人または配偶者）の申し出をした従業員に対して、育児休業制度に関する周知を行い、育児休業の取得意向を確認する義務

#### ④有期契約労働者の育児休業取得要件の緩和（令和4年1月1日改正）

子が1歳6か月になるまでの間に雇用契約が満了することが明らかでない限り取得可能に。

#### ⑤出生時育児休業制度（産後パパ育休）の創設（令和4年10月1日改正）

男性が子の出生後8週間以内に、最大で4週間以内の休業を取得可能に。

#### ⑥ 育児休業の分割取得（令和4年10月1日改正）

育児休業について、2回まで分割して取得することが可能に。

#### ⑦子の看護休暇の見直し（令和7年4月1日施行）

子の対象年齢が小学校3年生修了まで拡大され、また、看護休暇の理由として、病気・怪我や予防接種・健康診断に加え、感染症に伴う学級閉鎖などや入学式、卒園式なども追加。これに伴い、『子の看護等休暇』に名称変更。

#### ⑧育児休業の取得状況の公表義務（令和7年4月1日施行）

常時雇用する従業員数が300人を超える会社は、毎年少なくとも1回、育児休業の取得状況（男性の育児休業の取得率など）を公表することが義務化。

問 11 貴事業所では、就業規則等の規定上、最長で子が何歳になるまで育児休業を取得することができますか。(〇は1つ)

1	1歳未満	5.1%	2	1歳	6.1%
3	原則は1歳だが、一定の場合は1歳6か月	18.8%	4	無条件に1歳6か月	5.6%
5	原則は1歳だが、一定の場合は2歳	30.5%	6	無条件に2歳	5.1%
7	2歳～3歳未満	8.1%	8	3歳以上	4.6%
9	育児休業の規定なし	15.2%		無回答	1.0%

問 12 男性従業員が育児に参加することについてどう考えていますか。貴事業所の考え方に最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

1	積極的に参加したほうがよい	48.2%			
2	仕事に支障のない範囲で参加したほうがよい	45.2%			
3	必要に迫られたときのみ参加すればよい	5.6%	4	参加する必要はない	0.5%
	無回答			無回答	0.5%

問 13 貴事業所では、男性の育児休業の取得促進のために取組を行っていますか。(〇は1つ)

1	行っている	41.1%	2	行っていない	56.3%	無回答	2.5%
---	-------	-------	---	--------	-------	-----	------

付問 13-1 問 13で「1」を選択した事業所のみ回答してください。

貴事業所では、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1	上司が積極的に育児休業をとる	14.8%	2	個別に働きかけをする	46.9%
3	取得促進の部署を作る	6.2%	4	法を上回る制度設計をする	11.1%
5	社内制度の周知を行う	69.1%	6	目標取得率を定める	7.4%
7	取得事例の紹介をする	8.6%	8	その他( )	4.9%
	無回答	0.0%			

問 14 男性従業員が育児休業を取得するにあたっての課題、または課題になりそうなことは何ですか。(〇は3つまで)

1	職場が男性従業員の育児休業を認める雰囲気ではない	5.6%			
2	代替要員の確保が困難	58.9%			
3	キャリア形成において不利になる懸念	7.1%			
4	上司の理解が進まない	2.0%			
5	前例(モデル)がない	20.8%	6	男性自身に育児休業を取る意識がない	18.8%
7	休業中の賃金補償	24.9%	8	社会全体の認識の欠如	7.1%
9	その他( )	11.7%		無回答	3.0%

問 15 貴事業所では、就業規則等の規定上、介護休業を最長でどのくらいの期間、取得できますか。(〇は1つ)

1	93日未満	8.6%	2	93日	47.7%	3	93日を超え6か月未満	7.6%
4	6か月以上1年未満	2.0%	5	1年	9.6%	6	1年を超える期間	2.5%
7	介護休業の規定なし	19.3%					無回答	2.5%

問 16 貴事業所では、令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日の間に、育児・介護休業を取得した従業員はいますか。(〇は 1 つ)

1 いる	48.7%	2 いない	49.7%	無回答	1.5%
------	-------	-------	-------	-----	------

**ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、お聞きします**

問 17 貴事業所において、以下の制度はありますか。また、制度がある場合、その対象者に〇をつけ、令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日までの利用者の有無を、右欄男女別にそれぞれ〇をつけてください。

制度の有無 (下段は対象者)	制度あり				制度なし	男性		女性	
	従業員 正規	従業員 ※非正規	予定あり 今後導入	制度なし		利用者あり	利用者なし	利用者あり	利用者なし
記入例	①	②	③	④	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	
無回答 制度の有無 ① 短時間勤務制度 7.6% 男性 11.4% 女性 3.8%	61.9%	38.6%	2.5%	22.8%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ② フレックスタイム制度 8.1% 男性 7.3% 女性 7.3%	41.1%	18.3%	3.6%	46.7%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ③ 在宅勤務制度（テレワーク等） 6.1% 男性 5.8% 女性 3.6%	69.0%	38.6%	1.5%	22.3%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ④ 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ 6.6% 男性 10.0% 女性 8.2%	53.3%	32.0%	4.1%	33.5%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ⑤ 半日や時間単位の有給休暇 3.6% 男性 4.4% 女性 3.2%	78.7%	48.7%	1.0%	15.2%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ⑥ 所定時間外労働（残業）の免除 9.1% 男性 9.2% 女性 7.1%	48.7%	27.9%	2.5%	38.6%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ⑦ 再雇用制度（育児・介護で退職した人を正社員で優先的に雇用する制度等） 10.2% 男性 19.0% 女性 7.1%	19.8%	8.1%	6.6%	61.9%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ⑧ 育児・介護に要する経費の援助 10.7% 男性 10.5% 女性 10.5%	8.1%	5.1%	2.0%	77.7%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ⑨ 事業所内保育所の設置 10.7% 男性 33.3% 女性 33.3%	0.0%	1.5%	0.5%	87.3%	A	B	C	D	
無回答 制度の有無 ⑩ 配偶者同行休業制度 10.7% 男性 28.6% 女性 28.6%	2.5%	1.5%	1.0%	84.8%	A	B	C	D	

※パート、契約社員、派遣社員（貴事業所が派遣元の場合）など

問 18 ワーク・ライフ・バランスの推進に当たっての課題、または課題になりそうなことは何ですか。  
(〇は3つまで)

1	経営者の理解が進まないこと	4.6%
2	管理職の理解が進まないこと	5.1%
3	風土の醸成	16.8%
4	売上減少等、経営への影響	22.3%
5	取組のための費用負担	12.7%
6	制度利用者と非利用者の間での不公平感	23.4%
7	勤務時間や勤務地の多様化による労務管理の煩雑化	21.3%
8	取組のためのノウハウ不足	7.6%
9	代替要員の確保等、人員配置に苦慮すること	49.7%
10	その他( )	5.1%
11	特に課題はない	18.3%
	無回答	1.5%

問 19 企業においてワーク・ライフ・バランスを推進する上で特に重要なことは何だと思えますか。  
(〇は3つまで)

1	企業のトップの意識	41.1%	2	上司・同僚の理解	47.7%
3	職場の両立支援制度の充実	31.5%	4	制度導入時の行政支援	14.7%
5	行政の経費援助(テレワーク、短時間勤務、フレックスタイム等の推進にかかる経費)				27.4%
6	保育園等、社会環境の整備	24.9%	7	育児・介護休業法等、法律の知識普及	13.7%
8	その他( )	6.6%		無回答	4.1%

## ハラスメントについて、お聞きします

### 職場におけるハラスメント防止に関する法改正について

男女雇用機会均等法、育児・介護休業法により、職場におけるセクシュアルハラスメント、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント(以下「妊娠等に関するハラスメント」と表記)の防止措置が義務付けられています。

令和2年6月1日より、労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法が改正され、職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。

#### ① 職場における「パワーハラスメント」を定義づけ

職場での優越的な関係を背景とした言動で、業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、労働者の就業環境が害される行為

#### ② 事業主に対し、職場におけるパワーハラスメントの防止措置を義務化(※)

#### ③ 事業主にハラスメントの相談等をした労働者に対する不利益取扱いの禁止(※)

#### ④ 自社の労働者が他社の労働者にセクシュアルハラスメントを行った場合の協力対応(努力義務)

※パワハラ防止対策の強化は、中小事業主は努力義務(令和4年4月1日から義務化)

【概要抜粋】詳細やその他の改正内容は、厚生労働省ホームページ等をご覧ください。

#### ■職場におけるハラスメントの防止のために。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyoukintou/seisaku06/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/seisaku06/index.html)

#### ■あかるい職場応援団

<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>

※本調査票に掲載した「職場におけるハラスメント防止に関する法改正について」の記載に誤って以下の文言が掲載されておりました。なお、当該誤記は調査結果の集計・分析には影響しません。  
正しい記載は以下のとおりです。

『※パワハラ防止対策の強化は、中小事業主は令和4年4月1日から義務化』

問 20 職場におけるハラスメント防止に関する法改正があったことを知っていましたか。(それぞれの項目について○は1つずつ)

	知っていた	知らなかった
① 職場における「パワーハラスメント」の定義づけ 無回答 0.5%	1 83.2%	2 16.2%
② 事業主に対し、職場におけるパワーハラスメントの防止措置を義務化 無回答 2.0%	1 82.7%	2 15.2%
③ 事業主にハラスメントの相談等をした労働者に対する不利益取扱いの禁止 無回答 2.0%	1 85.8%	2 12.2%
④ 自社の労働者が他社の労働者にセクシュアルハラスメントを行った場合の協力対応(努力義務) 無回答 1.5%	1 71.6%	2 26.9%

職場における「パワーハラスメント」を定義づけについて

◆職場のパワーハラスメントとは

職場において行われる①優越的な関係を背景とした言動であって、

②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されるものであり、

①から③までの3つの要素を全て満たすものをいいます。

なお、客観的にみて、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については、職場におけるパワーハラスメントには該当しません。

問 21 貴事業所では、実際にパワーハラスメントや、セクシュアルハラスメント・妊娠等に関するハラスメント・性的志向、性自認に基づくハラスメント等の何らかのハラスメントが問題になったことがありますか。(過去5年間について)(○は1つ)

1 問題になったことがある	26.9%
2 問題になったことはないが、実態としてはある	9.6%
3 問題になったことも実態としてもない	60.4%
無回答	3.0%

問 22 ハラスメントが起きたときに対応が困難と感じることは何ですか。(○はいくつでも)

1 事実確認が難しい	52.8%
2 プライバシーの保護が難しい	36.5%
3 どこまでがハラスメントに該当するか、線引きが難しい	67.5%
4 被害者が嫌がっていることを加害者に理解させることが難しい	23.4%
5 相談を受ける際の留意点等が分からない	9.1%
6 被害者へのケアを含めた対応が難しい	32.5%
7 加害者への処分を含めた対応が難しい	32.0%
8 顧客や取引相手が加害者の場合の対応が難しい	21.8%
9 相談後の対処法が分からない	10.2%

10	日常の業務が忙しいため、十分に対応する余裕がない		8.1%
11	相談窓口の整備等に人員や経費がかかるため難しい		5.1%
12	その他（	）	4.6%
13	特にない	5.6% 無回答	2.5%

問 23 貴事業所では、ハラスメントを防止するために、どのような取組を実施していますか。また、実施している場合は、その対象者はどの範囲になりますか。

取組内容	実施の有無 (下段は対象者)	実施している			実施して いない	実施して いないが 実施を 検討中
		正規 従業員	非正規 従業員※1	その他 の方※2		
記入例		①	②	③	4	5
① 就業規則等にハラスメント禁止を明記		1	2	3	4	5
無回答	2.5%	70.1%	52.3%	18.3%	17.8%	8.1%
② ポスター、リーフレット、手引き等防止のための啓発資料を配布または提示		1	2	3	4	5
無回答	6.6%	26.9%	18.3%	7.1%	57.9%	7.1%
③ ハラスメントに関する研修・講習等の実施 (外部機関の研修等に、従業員を参加させる場合も含む)		1	2	3	4	5
無回答	6.6%	37.6%	21.3%	8.1%	43.1%	12.2%
④ 事業所内外に相談窓口・担当者、苦情処理機関等を設置		1	2	3	4	5
無回答	3.6%	59.4%	44.7%	17.3%	31.5%	5.6%
⑤ 実態把握のためのアンケートや調査を実施		1	2	3	4	5
無回答	4.1%	30.5%	18.3%	7.1%	53.8%	11.2%
⑥ (妊娠等に関するハラスメント防止のため)適切な業務分担の見直しや代替要員の補充、業務の効率化のための業務点検を実施		1	2	3	4	5
無回答	4.1%	40.6%	25.9%	9.6%	45.2%	9.6%

※1 パート、契約社員、派遣職員（貴事業所が派遣元の場合）など

※2 他の事業主が雇用する労働者、就職活動中の学生等の求職者、労働者以外の者（個人事業主などのフリーランス、インターンシップ生、教育実習生）など

付問 23-1 問 23 の「④事業所内外に相談窓口等を設置」で「1」～「3」を選択した事業所のみ回答してください。

過去5年間に於いて、ハラスメントに関する相談はありましたか。(〇は1つ)

1 相談があった	41.0%	2 相談がなかった	59.0%
無回答	0.0%		

付問 23-2 付問 23-1 で「1」を選択した事業所のみ回答してください。

増加傾向にあるハラスメントは何ですか。(〇はいくつでも)

1 セクシュアルハラスメント	39.6%	2 妊娠等に関するハラスメント	0.0%
3 パワーハラスメント	83.3%	4 その他 ( )	4.2%
無回答	0.0%		

### LGBTQとは

「L＝レズビアン（女性同性愛者）」「G＝ゲイ（男性同性愛者）」「B＝バイセクシュアル（両性愛者）」「T＝トランスジェンダー（心と身体の性が一致しない人）」Q＝クエスチョニング（性的自認、志向が定まっていない・決めていない人）」の頭文字で表しています。「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」と表現することもあります。

問 24 貴事業所では、LGBTQの従業員を支援するための取組を実施していますか。（〇は1つ）

1 実施している	5.6%	2 実施する予定がある	1.5%
3 実施していない	92.4%	無回答	0.5%

▶ 付問 24-1 問 24 で「1」を選択した事業所のみご回答ください。

貴事業所では、LGBTQの従業員を支援するためにどのような取組を行っていますか。（〇はいくつでも）

1 当事者が利用しやすいトイレや更衣室などを設置（配慮）している	36.4%
2 就業規則等の一項目として差別禁止を規定している	54.5%
3 福利厚生で同性パートナーも配偶者として扱っている	36.4%
4 経営トップなどから支援を宣言・明確にしている	45.5%
5 管理職への研修・講習等を実施（外部機関の研修等に参加させる場合も含む）している	45.5%
6 従業員への研修・講習等を実施（外部機関の研修等に参加させる場合も含む）している	36.4%
7 相談窓口を設置している	45.5%
8 実態把握のためのアンケートを実施している	9.1%
9 その他（ ）	0.0%
無回答	0.0%

問 25 貴事業所が、LGBTQに関する取組を進める上で特に困難と感ずることは何ですか。（〇は3つまで）

1 経営層の理解や協力が得られない	10.2%
2 従業員の理解が足りない	11.7%
3 顧客や取引先の理解が得られない	5.1%
4 当事者のニーズや意見を把握することが難しい	27.4%
5 取組の効果の把握が難しい	17.3%
6 どのような取組を実施すればよいのかわからない	29.9%
7 取組を行うための知見を持った人材がない	23.4%
8 取組を行うための予算が確保できない	4.6%
9 その他（ ）	5.1%
10 特に困難と感ずることはない	19.8%
11 わからない	9.1%
無回答	6.1%

◆事業主や人事担当者の方で、LGBTQ に関する取組を進める上で相談したいことがある場合は、MIWのLGBTQ相談をご活用ください。LGBTQに関する専門的な知識を持つ相談員が対応させていただきます。

- ・千代田区男女共同参画センターMIW相談室（LGBTQ 相談）  
☎03-5211-4316（予約専用電話）  
<https://miw.city.chiyoda.lg.jp/soudan-2/#LGBT>



## 区の実施について、お聞きします

問 26 千代田区では、中小企業等を対象として、仕事と家庭の両立を応援するため、以下の制度の導入を推奨しています。

### (1) 従業員 300 人以下の事業所のみご回答ください。

㊦ 次の休暇制度について知っているものに○をつけてください。

（それぞれの項目について番号に○を1つずつ）

㊧ これらの休暇を制度として導入していますか。

（それぞれの項目についてアルファベットに○を1つずつ）

制度の種類	認知度・利用状況		㊦認知度			㊧導入状況		
	無回答	ア	イ	知っている	聞いたこと	知らない	導入している	導入していない
記入例				①	2	3	Ⓐ	B
① 配偶者出産休暇 ※ 無回答 ア 5.5% イ 12.7%				55.2%	16.6%	22.7%	44.8%	42.5%
② 育児目的休暇 ※ 無回答 ア 5.5% イ 12.7%				53.6%	17.7%	23.2%	41.4%	45.9%
③ 子の看護等休暇 ※ 無回答 ア 6.6% イ 12.7%				68.5%	7.2%	17.7%	60.8%	26.5%
④ 育児休業・育児短時間勤務 ※ 無回答 ア 6.1% イ 12.7%				74.6%	7.7%	11.6%	68.5%	18.8%
⑤ 介護休業・介護休暇・介護短時間勤務 ※ 無回答 ア 6.1% イ 12.2%				72.4%	8.8%	12.7%	67.4%	20.4%

※育児・介護休業法に規定するもの。配偶者出産休暇については、配偶者の出産に際して、男性が特別休暇として取得できるものとする。

(2) 従業員100人以下の事業所のみご回答ください。

㊦次世代育成支援行動計画策定奨励金（※）を知っていますか。（〇は1つ）

㊧この制度を利用したことはありますか。（〇は1つ）

認知度・利用状況 支援制度の種類	㊦認知度			㊧利用状況	
	知っている	聞いたこと	知らない	利用したことがある	利用したことはない
⑥ 次世代育成支援行動計画策定奨励金 無回答 ア 0.7% イ 18.6%	1 5.7%	2 15.7%	3 77.9%	A 0.7%	B 80.7%

※従業員100人以下（10人以上）の企業が行動計画を策定した場合の奨励金です。

問 27 今後、企業の男女共同参画を進めるにあたり、千代田区は特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

1 広報紙やパンフレット等による男女平等や相互理解についての啓発	19.3%
2 男女共同参画をテーマとした講座やセミナーの実施	10.7%
3 事業所が行う研修会等への講師の派遣・紹介	11.7%
4 女性の社会進出のための職業教育や職業訓練の実施	6.6%
5 雇用・労働条件における男女の平等を確保するための啓発	12.7%
6 多様な働き方やワーク・ライフ・バランスを推進する企業への優遇措置	33.0%
7 保育施設・保育サービスの充実	29.9%
8 高齢者や障害者のための施設・介護サービスの充実	18.8%
9 企業や女性のための相談機関の充実	8.6%
10 育児・介護に関する休暇・休業制度等への賃金補償	34.5%
11 その他（ ）	3.0%
無回答	12.2%

問 28 貴事業所が男女平等・男女共同参画の推進について、日頃感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

